

市川三郷町立病院改革プランの実施状況について

総務省では全国の公立病院に対し、経営効率化の推進（収支の黒字化）、再編ネットワーク化及び経営形態見直しなど、経営に関する改革プランの策定を求め、市川三郷町立病院においても平成21年3月に市川三郷町立病院改革プランを策定しました。計画の中で経営効率化に関する事項は平成23年度が最終年度となっていますが、再編ネットワーク化及び経営形態見直しに関しては5年計画としており、平成25年度を最終年度としています。平成24年度の実施状況（概要）は次の通りとなっています。

■収益的収支における実績状況（概要）

（単位：百万円）

区分		年度	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)A	24年度 (実績)B	前年度 比較B-A
収入	1. 医業収益	a	1,500	1,448	1,462	1,333	△ 129
	2. 医業外収益		135	157	155	214	59
	経常収益	A	1,635	1,605	1,617	1,547	△ 70
支出	1. 医業費用	b	1,633	1,569	1,579	1,519	△ 60
	うち職員給与費	c	760	756	752	715	△ 37
	2. 医業外費用		46	44	37	35	△ 2
	経常費用	B	1,679	1,613	1,616	1,554	△ 62
損益	経常損益	(A-B) C	△ 44	△ 8	1	△ 7	△ 8
	特別損益	D					
	純損益	(C+D)	△ 44	△ 8	1	△ 7	△ 8
	累積欠損金		514	522	521	528	7
経常収支比率		(A/B) x 100	97.4%	99.5%	100.1%	99.5%	△ 0.6pt.
医業収支比率		(a/b) x 100	91.9%	92.3%	92.6%	87.8%	△ 4.8pt.
職員給与費対医業収益比率		(c/a) x 100	50.7%	52.2%	51.4%	53.6%	2.2pt.
病床利用率			52.2%	55.0%	55.4%	44.2%	△ 11.2pt.
一般会計からの繰入金(資本的収入含む。)			215	222	203	267	64

平成24年度の病床利用率は前年度比11.2ポイント低下し44.2%となりました。このため、医業収益は減収となりましたが、町からの繰入金の増額や費用削減効果などにより経常損益（純損益）は7百万円の赤字となりました。

■再編ネットワーク化に係る実施状況（概要）

市川三郷町立病院と社会保険鰯沢病院を経営統合するとともに、市川三郷町立病院は市川三郷病院として総合診療型病院の役割を担うこととなっています。統合後の経営を担う峡南医療センターの開設準備のための一部事務組合「峡南北部二病院統合事務組合」が市川三郷・富士川両町により設立されました。同組合を中心に平成26年4月の峡南医療センター開設に向け手続きや業務の摺合せなど協議を進めています。

■経営形態見直しに係る実施状況（概要）

現在の市川三郷町立病院は、地方公営企業法のうち財務規定のみが適用されています。平成26年4月より峡南医療センターにおいては地方公営企業法の全部を適用する企業団となります。